

「集配業務全社員年賀」の試行実施について（追加）

1 概要

年末年始繁忙期において、品質向上及び人件費の削減等を図るため、既に展開している「正社員年賀」による配達アルバイト“ゼロ”に加え、年賀郵便物の道順組立アルバイトについても“ゼロ”にする「集配業務全社員年賀」の試行実施対象局を一部追加する。

2 試行実施局

(1) 局全体実施

栃尾局

(2) 一部実施（班単位）

岡谷局

3 実施方法

(1) 一般信、年賀郵便物の配達及び年賀郵便物の道順組立は、原則として全課室の正社員、長期期間雇用社員により行う。

(2) 課を超えて局全体で年賀作業に転換できる労働力を100%活用する。

(3) 作業効率を高めるため区分機を最大限に活用する（完全2パス交付）。

4 試行実施に向けた取組（準備）

(1) 全社員が目的を理解し、例外なく年賀作業に参画する基盤づくり

(2) 2パス率向上のための配達総合情報システムのデータ整備

(3) 業務量の正確な把握に基づく必要労働力の算出及び要員配置計画の作成

(4) 労働力の生み出し（混合、通配、局内作業の見直し）

(5) 他課（室）応援体制の確立（兼務発令、業務見直しによる応援労働力の生み出し）

(6) 他課（室）応援者の事前訓練

(7) 休暇付与の工夫（計画年休の早期付与、業務企画室の12/29～1/3における休暇付与の見直し）

(8) 年賀葉書の早期販売目標達成

(9) 非常時の対策準備

5 その他

支社社員が準備段階から訪問し、この施策に伴う業務・要員体制等についてフォローする。